

諏訪大社の御祭神 建御名方命と妃の八坂刀売命 (たけみなかたのみこと) (やさかとめのみこと)



国譲りの神話 (『古事記』より)

天照大神が、出雲に住みその地方を治めていた大国主命のもとに御使者を遣わされ、領地を献上するように求められました。大国主命は第一王子の事代主命と相談してそれに応じられました。ところが、気性の荒い第二王子の建御名方命は、承知できないと言って頑張ったのです。そこで御使者と相撲で決着をつけたところ負けてしまったので、逃げて信濃の諏訪の地まで来られ、「この地を除いて他所に行かない」と言われてお住み着きになったといひます。それから命は立派に諏訪の地を治めたので、後に「諏訪神社」として祀られたのです。

武田信玄と下諏訪

諏訪は信玄に侵攻され、諏訪氏を滅ぼされた歴史がありますが、信玄にまつわる言い伝えが数多く残り、好意的に捉えられています。それは信玄が信仰に篤く、戦乱の世で廃れていた諏訪明神(諏訪大社)の神事の再興や社殿の再建につとめたことや、諏訪頼重の娘(名は残ってなく、諏訪御料人、小説では由布姫・湖衣姫と呼ばれます)が信玄の側室になり勝頼を生んだことなどが関係しているかもしれません。

「承知川」は、諏訪明神(秋宮)に戦勝祈願をして社殿の建替えを約束した信玄が、見事勝利して甲斐へ帰るときに、この場で馬が動かなくなり、はたと約束を思い出して『約定違えぬこと承知仕り候』と言ったことから呼ばれるようになり、埋蔵金伝説が残っています。

「慈雲寺」は信玄が再建し、矢除石の伝説があり、他にも「毒沢鉱泉は信玄の隠し湯」、遺言から「諏訪湖には信玄の石棺が沈んでいる」などの説があります。

お金がかたまる!? 白松の三本の葉をお財布に入れておくとお金のたまるそうです!!

下社の七不思議一 寝入の杉 真夜中 枝を三寸下げて眠り 幹に目を当てるといびきか聞こえらうぞうぞう!!

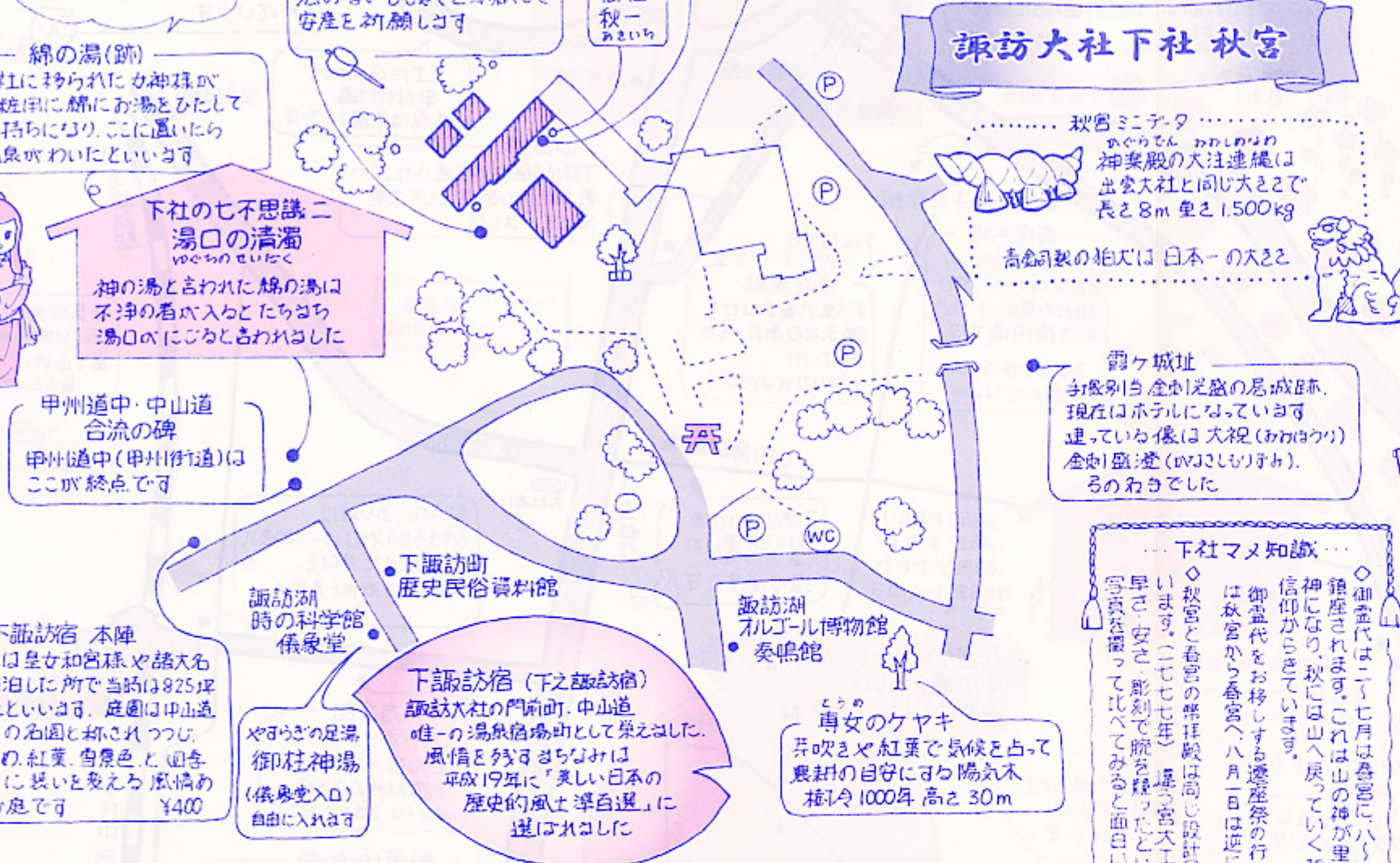
葉っぱとマウツに入れたら 安眠できるといひ お試しあれ

遠葉の中ひらく 採ってね

子安社 安産の神様 産のいひしやくを奉納して 安産を祈願しなす

御柱 秋一

レリーフには 宿禰助の様子を描かれていて 温泉も身分制になっていて 庶民の入湯には 脱衣所がなくて 外から 湯を見えだしたんです...



下社マメ知識

御霊代は二月七日は春宮に 鎮座されはす。これは山の神が里に下つて 田の 神になり、秋には山へ戻つていく 稲作農耕の 信仰からなされていひます。

御霊代をお移しする 遷座祭の行列は二月一日 秋宮から春宮へ八月一日は逆に なります。

秋宮と春宮の祭神は同じ設計図で造られて います。(二七七年) 遷座祭(大工が請ひい ます)で、彫刻で腕を練つたといひます。 写実を重んじて比へてみる と面白いです。

諏訪大社下社 春宮



下社の七不思議

